機能一覧

○：基本仕様　●：標準装備仕様　◎：有償付加仕様

分類	仕様	内容	P	R	B
運転方式	コレクチブコントロール（乗合全自動方式）	行先階を登録するだけで、エレベーターの戸閉め、出発、到着、戸開きなど一連の動作を自動的に行います。エレベーターは乗り場の呼び登録、かご内の行先階ボタン操作による呼び登録を全て記憶し、それに応じて運転方向の階床順にサービスをします。	○	○	○
	ジュプレックスコレクチブコントロール	２台のエレベーターを効率良く運転する群乗合方式です。	◎	◎	◎
	群管理ＣＩＰシリーズ（3台、4台）	全エレベーターの状況を監視してサービスの最適化を図る全自動群管理方式です。	◎	◎	—
	かご内専用運転	乗り場呼び登録を無効にして、かご内の行先階呼び専用で運転します。	◎	◎	○
管制機能	初期微動感知地震時管制運転（P.S波感知（リスタート機能付き））	地震の初期微動を感知し、かごを最寄り階に停止させます。	●	●	●
	地震時管制運転（S波感知（リスタート機能付き））	地震感知器で地震の主要動を感知し、かごを最寄り階に停止させます。	◎	◎	◎
	緊急地震速報利用地震時管制運転	気象庁緊急地震速報を受信して地震時管制運転を行います。（受信装置は別途工事）	◎	◎	◎
	火災時管制運転	火災が発生したとき、エレベーターを自動的に避難階に呼び戻し待機します。 火災を検知 ↓ 火災管制スイッチを「入」に切り替えます。 ↓ 「火災」とかご内表示し、アナウンスを行います。 『ドアが開いたらおりて下さい。』 ↓ 登録済みの行先階は取り消し、または無効となります。 ↓ 避難階へ直行し、着床後戸が開きます。 ↓ 操作盤の戸開きボタンが点灯し、かご内の照明が消灯します。 ↓ 一定時間後、自動的に戸を閉め運転を休止します。	◎	◎	◎
	自家発時管制運転	停電時に、建屋側の自家発電源でエレベーターを避難階へ運転させます。	◎	◎	◎
	停電時自動着床装置	停電時に、バッテリー電源でエレベーターを最寄り階へ運転させます。	●	●	●
	ピット冠水時避難運転*1	ピットの冠水を検知すると、エレベーターが運転を休止します*。	○	○	○
保護機能	ドア過負荷反転装置	戸の開閉時に戸に加わる外力が一定値を超えた場合に戸が反転します。	○	○	○
	ケアフルセンサー（乗り場側利用者検知機能）	乗り場側へ向けてセンサーを設置。戸が閉まりはじめているときに、エレベーターに乗り込もうとする人を検知すると再び戸が開きます。	●	●	○
	マルチビームドアセンサー	出入口のほぼ全面を検知するセンサーが、乗り降りする人を検知すると再び戸が開きます。	●	●	○
	ドアシグナル付きマルチビームドアセンサー	マルチビームドアセンサーに加えて、セーフティシューに設置されたドアシグナルが戸の閉まり始めるタイミングをお知らせします。	◎	◎	●
	ラインキャッチセンサー付きマルチビームドアセンサー	マルチビームドアセンサーに加えて、かご戸に設置された感圧センサーが、ひも状の細いものの挟まれを検知すると再び戸が開きます。	◎	◎	◎
	かご内停電灯（バッテリー自動充電式）	停電時にバッテリーで停電灯を点灯します。	○	○	○
	ネクストドライブ	エレベーターが着床した際に、乗り場戸の敷居に物などが挟まり戸が開かない場合、次の階へ運転して戸を開きます。	○	○	○
	同時通話方式インターホン	非常時の呼び出しなど、かご内と管理室間で通話ができます。	○	○	○
	両側セーフティシュー	閉まりかけた戸に乗客や荷物などが挟まれたときに、これを検出して戸を開きます。	◎	—	—
	ケアフルドア（かご戸袋引き込まれ低減機能）	戸がゆっくりと開きはじめ、かご内の戸袋付近に近づく利用者の手や荷物などをセンサーが検知すると、音声案内で注意喚起します。（音声案内装置が必要となります）	◎	◎	◎
福祉対応	着床時行先階ボタン点滅機能	かごが目的階に近づくと、その階の行先階ボタンが点滅し、到着を事前にお知らせします。	○	○	○
	ハイコントラスト凸文字ボタン	点灯していない状態の見やすさと、触ったときの分かりやすさに配慮しています。	○	○	○
	大型乗り場ボタン	両手に荷物を持った人でも押しやすいように、大型のボタンを採用しています。	○	○	○
	大型戸開ボタン	戸閉ボタンとの押し間違いを抑止するため、戸開ボタンを大きくしています。	○	○	○
	敷居溝幅10mm	敷居溝幅を10mmに縮小し、乗り降りの際の不安感を軽減します。	○	○	○
	敷居間ギャップ10mm	かごと階床との隙間を10mmに縮小し、乗り降りの際の不安感を軽減します。	○	○	○
	気くばり操作盤	子どもから高齢者まで多くの人がスムーズに操作できるよう、操作ボタンを床から約1000mmの高さに配置しています。	◎	◎	◎
	車いす兼用エレベーター仕様（P型-6人乗りは除く）	車いすに乗ったままで利用できる乗り場ボタン、かご操作盤、鏡*2やドアセンサーなどを装備します。	◎	◎	◎
	視覚障がい者対応仕様	目の不自由な方への配慮として、操作ボタンの点字銘板や運行状況の音声案内を準備します。	◎	◎	◎
	発音式かごボタン	かご内のボタンを操作したとき、電子音を鳴らしてボタン操作を伝えます。	◎	◎	◎
	インターホン応答表示灯	インターホンボタンの操作時と外部からの応答時に、操作盤に設置した表示灯を点灯させます。	◎	◎	◎
	フルハイトミラー（ステンレス鏡面）	車いす使用の方の乗り降りの利便性とかご内の開放感を高めます。	◎	◎	◎

*1 冠水検知時、エレベーターが最下階に停止している場合は、退避階に運転後休止します。
*2 トランク、二方向出入口、展望窓（背面）を採用する場合は凸面鏡となります。

○：基本仕様　●：標準装備仕様　◎：有償付加仕様

分類	仕様	内容	P	R	B
セキュリティ	シークレット運転	かご内で行先階ボタンを長押しすることで、エントランス階にある乗り場インジケータの階数表示を消灯した状態で運転します。	◎	◎	◎
	かご戸・出入口戸防犯ガラス窓付き（網入り合わせガラス・ドア面との段差なし）	戸にガラス窓を設けることによって防犯効果を高め、利用者に安心感を提供します。	◎	◎	◎
	かご戸・出入口戸大型防犯ガラス窓付き（網入り合わせガラス・ドア面との段差なし）		◎	◎	◎
	高音声センサー付き最寄り階停止運転	乗客の発する高音声を検出し、エレベーターを最寄り階へ停止します。	◎	◎	—
	かご内防犯カメラ	かご内の状況を監視室などでモニターできます。かご内での犯罪やいたずら抑止に効果的です。（当社と保全契約が必要となります。）	◎	◎	◎
	かご内液晶インジケータへのカメラ映像表示	かご内の映像をかご内液晶インジケータに表示し、犯罪抑止効果を高めることができます。（当社と保全契約が必要となります。）	◎	◎	◎
	乗り場液晶インジケータへのカメラ映像表示	かご内の映像を乗り場液晶インジケータに表示し、犯罪抑止効果を高めることができます。（当社と保全契約が必要となります。）	◎	◎	◎
	ダブルセキュリティ	エントランスとエレベーターの二重のセキュリティで防犯効果を高めます。（当社と保全契約が必要となります。）	◎	◎	◎
	BIVALE（ビヴァーレ）連動セキュリティ	マンション管理システムを活用したエレベーターのセキュリティ機能により、防犯効果を高めます。（当社と保全契約が必要となります。）	◎	◎	◎
	防犯運転	専用ボタンを押し、行先階ボタンを押すと目的階まで直行します。	◎	◎	—
案内機能	文字表示の英文併記	外国人利用者に配慮して、標準文章の和文と英文の文字を併記します。	○	○	○
	愛情アナウンス	かごの混み具合や利用者の乗り降りの有無、ボタンの操作状況などに応じて音声案内します。	○	○	○
	非常放送用スピーカー	建屋から支給の非常放送をかごのスピーカーで放送します。	◎	◎	◎
	音声案内装置	階床案内など乗客に対して各種案内を放送します。	◎	◎	◎
	ペットボタン	かご内のボタン操作で、乗り場インジケータにペットが同乗していることを表示します。	◎	◎	◎
	ホールランタン	乗り場で、かごの到着、運転方向をお知らせします。	◎	◎	◎
	到着予報チャイム	かごが到着する直前に、主に乗り場の乗客にチャイムでお知らせします。	◎	◎	◎
	スピーカー音量調整用アッテネーター	建屋から支給の音源をかごのスピーカーで放送する際の音量調整が可能です。	◎	◎	◎
運転サービス	パーキング運転	スイッチ操作によりエレベーターをパーキング階に呼び寄せ、戸閉じし照明を消灯して休止します。	○	○	○
	気くばり配車運転	エレベーターの利用パターンを学習して配車することで待ち時間を短縮します。	○	○	—
	可変速ドライブシステム*	かご内乗車率に応じてエレベーターの最高速度を上げる機能です。	◎	◎	◎
	出退勤時スケジュール運転	タイマー設定により、出勤時と退勤時の一定時間にエレベーターを特定階に呼び寄せます。	◎	◎	—
	自動休止スケジュール運転	タイマー設定により、自動的にエレベーターの休止と運転を切り替えます。	◎	◎	◎
	停電時低速継続運転装置（定格速度45、60m/minのみ）	停電発生時に安全装置などを確認した後、約10分間バッテリーにてエレベーターを低速で継続運転します。（停電時自動着床装置との併用はできません。）	◎	◎	◎
	特定階サービス切り離し運転	かご内操作盤の暗号操作で、特定階の行先階ボタンを登録できないようにします。	◎	◎	◎
	特定階の呼び登録無効切り替え（キースイッチ）	キースイッチ操作で、あらかじめ設定した行先階ボタンを一時的に登録します。	◎	◎	◎
	かご呼び優先運転	途中の乗り場呼びに応答せず、行先階登録を優先して運転します。	◎	◎	◎
	非接触ＩＣカードリーダーによる運転 非接触キーリーダーによる運転（かご内、乗り場）	かご内行先階ボタンを無効にして、認証キーによりあらかじめ設定した行先階を登録する機能です。（当社と保全契約が必要となります。）	◎	◎	◎
省エネルギー機能	かご照明及び換気扇の自動休止	所定の時間エレベーターが利用されない場合は、自動的に照明を消灯、換気扇も停止させます。	○	○	○
	回生システム	エレベーターの運転状況により発生する回生電力を建物内で利用します。	◎	◎	◎

* 定格速度105m/minの場合、オーバーヘッド最小寸法が変更となります。昇降路内法、オーバーヘッド寸法については機種別仕様表を参照ください。
（P型:31ページ　R型:37ページ　B型:43ページ）

機能一覧

○：基本仕様　●：標準装備仕様　◎：有償付加仕様

分類	仕様	内容	P	R	B
利用者サービス	かご行先階ボタンのいたずら登録キャンセル機能	かご内の行先階ボタンが、かご内の人数に比べて多数押されている場合は、いたずら操作と検出して、かご行先階登録を一括キャンセルします。	○	○	○
	リモートメンテナンス用インタフェース	運転状態の異常信号を(株)日立ビルシステムの管制センターに伝送する「エレベーターリモートメンテナンス」用のインタフェースを装備しています。	○	○	○
	反転時呼び一括キャンセル機能	かごの運転方向が反転する時、逆方向の呼び登録を取り消します。	○	○	○
	かご行先階ボタン誤登録取消し機能	誤って登録した行先階のボタンを２度押しすることにより、登録を取り消します。	○	○	○
	照明色自動切替機能*1	あらかじめ設定した時刻で、かご内照明色を自動的に切り替えます。	◎	—	—
	かご照明調光機能*2	かご天井照明を調光することができます。	◎	◎	◎
	かご内展望窓付き（背面）*3（P型-6、9人乗りは除く）	かご背面側板に窓を設け、かご内の閉塞感を解消します。	◎	—	—
	蒸散型クーラー（P型-6人乗り、R型-6人乗りは除く）	ピット排水が不要な蒸散型クーラーを採用。かご内の快適性が向上します。	◎	◎	◎
	「ナノイー」発生装置	かご上に、水に包まれた微粒子イオン「ナノイー」の発生装置を搭載し、かご内の快適空間を演出します。	◎	◎	◎
	戸開き時間延長ボタン	[開延長]ボタンを押すと、戸開き時間を延長することができます。	◎	◎	○
	満員通過機能	満員時に途中の乗り場呼びに応答せず運転することで、運転効率を向上させます。	◎	◎	◎
その他	出発階乗り場側インターホン（三方枠組み込み）	出発階乗り場の三方枠に、非常時のかご内通話用インターホンを設置することができます。	—	◎	◎
	副操作盤	かご内で出入口に向かって左側にも操作盤が付きます。	◎	—	—
	天井高さ200mmアップ	かご内天井高さを200mmアップします。	◎	◎	◎
	軽故障時最寄り階着床運転	運転中に一時的な故障で停止した場合、安全装置が動作していない限り、最寄り階まで自動低速運転し、閉じ込め故障を低減します。	○	○	○
	過負荷検出装置（乗り過ぎ防止警報装置）	戸が開いているときに、かご内の荷重が所定の値を超えた場合、警報を発して戸を開いたままにします。	○	○	○
	遮煙性能付きエレベーター乗り場戸	エレベーターの乗り場戸と三方枠、および乗り場と敷居の隙間を気密材で密閉することで、エレベーターに遮煙性能を持たせます。(ガラス窓付きの場合は、特定防火設備扱いにはなりません。また、本仕様採用時、停電時自動着床装置および火災時管制運転が必要となります)	◎	◎	◎
	かご側板保護マット	荷物の搬入出時にかご側板を保護するマットを取り付けます。	◎	◎	◎
	かご側板抗菌消臭保護マット		◎	◎	◎
	かご側板バイカラー保護マット		◎	◎	◎
	かご床マット	荷物の搬入出時にかご床タイルを保護するマットを取り付けます。	◎	◎	◎
	キックプレート	かご幅木上端から240mm立ち上がりまでを保護するステンレス製プレートを取り付けます。	◎	◎	◎
	400Ｖ電源	建屋支給のエレベーター動力電源400～440Vに対応した仕様です。	◎	◎	◎
	絶縁トランス	昇降路内に高次の高調波流出電流を低減する交流トランスを取り付けます。	◎	◎	◎
	高調波抑制リアクトル	制御盤内に低次の高調波流出電流を低減する交流リアクトルを取り付けます。	◎	◎	◎
	トランク付き*3（P型-11、13、15人乗り、R型-9人乗りのみ）	かごの奥にトランクを設けることによって、奥行きのある台車等を運搬できます。	◎	◎	—
	かご出入口二方向*3（P型-6、9人乗り、R型-6人乗りは除く）	かご内の背面に出入口を設けます。車いす使用の方が、乗り込んだ向きのままで通り抜けられ容易に乗り降りできます。（寸法図等につきましては別カタログ「アーバンエース設計・施工のための資料」をご参照ください。）	◎	◎	◎
	250kg超え台車搬出入対応	エレベーター床の強度を上げることによって、一度に載せる重量物の搬出入重量上限値を拡張します。 ※1 定格速度 45、60m/min で対応。 ※2 P 型 11、13、15 人乗り、R 型 13 人乗り、B 型で対応。 ※3 床タイルはゴムタイル（厚さ 6mm）の採用が必要となります。「エレベーター用ゴムタイル標準色見本」から床タイル色をお選びください。	◎	◎	◎

型式	最大台車重量
P-11-CO45、60	375kg
P-13-CO45、60	450kg
P-15-CO45、60	500kg
R-13-2S45、60	425kg

型式	最大医療器具重量
B-750-2S45、60	375kg
B-1000-2S45、60	500kg

*1 EX-11天井を採用の場合のみ、お選びいただけます。
*2 BS-11天井を採用する場合は、かご照明調光機能は適用できません。
*3 鏡を採用する場合は凸面鏡となります。

意匠一覧

○：基本仕様　●：標準装備仕様　◎：有償付加仕様

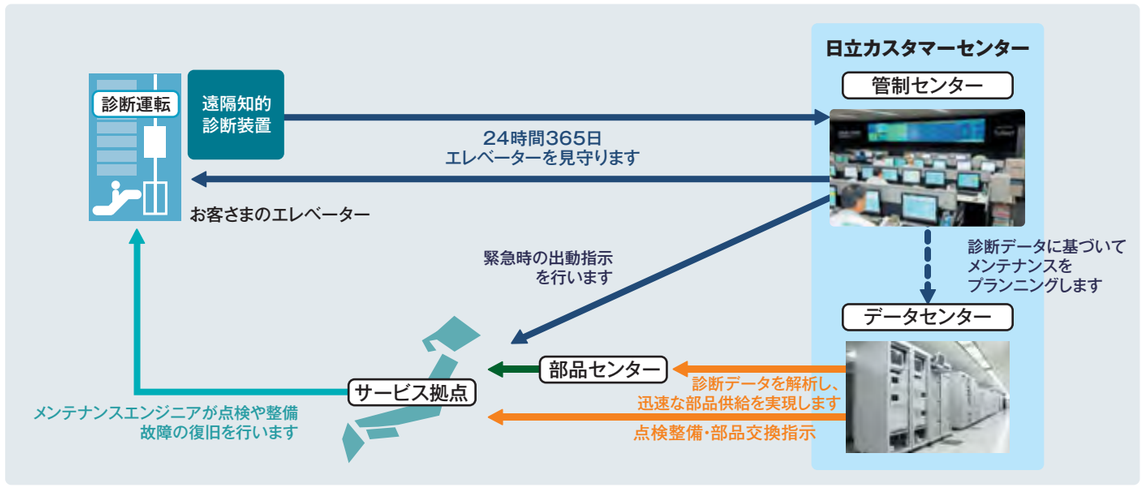
項目		仕様	P	R	B
かご意匠	天井	ベーシック〈BS-11〉	○	○	○
		セレクト〈SL-11〉〈SL-12〉	◎	◎	◎*1
		デラックス〈DX-11〉〈DX-12〉（P型、R型6人乗りは除く）	◎	◎	◎*2
		エクセレント〈EX-11〉〈EX-12〉（6、9人乗りは除く）	◎	—	—
	側板・戸	化粧鋼板	○	○	○
		鋼板塗装	◎	◎	◎
		鋼板化粧シートばり	◎	◎	◎
		鋼板メタリック塗装	◎	—	—
		ステンレスヘアライン	◎	—	—
		ステンレスエッチング（標準柄）	◎	—	—
	戸*3	ステンレスヘアライン	◎	◎	◎
	幅木	化粧鋼板（シャンパンシルバー）	○	○	○
		ステンレスヘアライン	◎	◎	◎
	敷居	硬質アルミ	○	○	○
		ステンレスヘアライン	◎	◎	◎
	天枠	ステンレスヘアライン	○	○	○
	ハンドレール	平形3方向ハンドレール（アルミアルマイト仕上げ）	—	—	○
		３方向ハンドレール（ステンレスヘアライン）	◎	◎	—
		木製ハンドレール	◎	◎	◎
		3方向ハンドレール（木製）	◎	◎	◎
		ワイドハンドレール（P型-11、13、15人乗りのみ）	◎	—	—
		３方向ハンドレール(ワイド)（P型-11、13、15人乗りのみ）	◎	—	—
		コンビニエントハンドレール	◎	◎	—
	縦型操作盤	樹脂成型	○	○	○
	フェースプレート	ステンレスヘアライン	●	●	●
	インジケータ	カラー液晶表示	○	○	○
	特殊意匠	デザインミラー（DX-12天井採用時のみ）*4	◎	◎	—
乗り場	三方枠	鋼板塗装小枠	○	○	—
		鋼板塗装Ｓ、Ｌ型小枠	—	○	—
		鋼板塗装Ｓ型小枠	—	—	○
		鋼板塗装大枠	◎	◎	◎
		ステンレスヘアライン大枠鋼板塗装幕板付き	◎	◎	◎
		ステンレスヘアライン板曲げ目地枠	◎	—	—
	戸	鋼板塗装	○	○	○
		ステンレスヘアライン	◎	◎	◎
		ステンレスエッチング（標準柄）	◎	◎	◎
	インジケータ	デジタル表示乗り場ボタン組み込み型	○	○	○
		カラー液晶表示乗り場ボタン組み込み型*5	◎	◎	◎
		デジタル表示幕板組み込み型（乗り場ボタン分離型）	◎	—	—

*1 B型は〈SL-11〉のみとなります。
*2 B型は〈DX-11〉のみとなります。
*3 かご戸の仕様のみステンレスヘアラインに変更することもできます。
*4 鏡、トランク付き、3方向ハンドレールを採用する場合は、デザインミラーは適用できません。
*5 エントランス階など、出入口一ヵ所のみの適用となります。

スーパーヘリオスメンテナンス

利用者の利便性を最優先に考えるメンテナンス

各機器の機能や運行状況を24時間365日、遠隔で監視・診断するシステムと、熟練したメンテナンスエンジニアによる保全技術を連携させたエレベーターメンテナンスです。



稼働データを個別に収集・解析することで、それぞれのエレベーターに最適な“予防保全”が可能になります。

いつも安全・快適にエレベーターを運行していくためには、何かが起こる前にその兆候をみつけて対処する“予防保全”という考え方が大切です。エレベーター1台1台の稼働データを収集・解析することによって、それぞれのエレベーターに最適なメンテナンス計画を構築します。

遠隔監視診断（24時間365日）

●**異常の前ぶれを常に監視**

異常の前兆をいち早くキャッチするために、お客さまのエレベーターを常に遠隔で監視・診断しています。

自動診断運転（1回／1ヵ月）

●**基本性能を自動チェック**

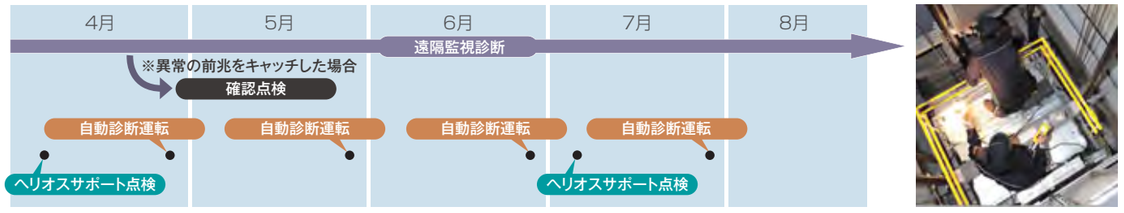
利用が少ない時間帯を使って、エレベーターのコンディション（基本運転性能）を自動的にチェック。点検結果はデータセンターへ転送され、点検履歴データとして蓄積されます。

ヘリオスサポート点検

●**メンテナンスエンジニアによる精密点検**

専門技術者の操作によって、精密診断運転を行います。診断結果は、データセンターに送られて、過去の稼働データ・点検履歴データと比較され、その変化値を分析することで未来を予測した作業が可能になります。

●**点検スケジュールの一例**



万が一のトラブルにも、遠隔自動解析によって迅速な復旧対応を行います。

遠隔故障原因解析

故障時の運行データを自動的に収集・解析し、原因を突き止めてメンテナンスエンジニアに連絡。従来に比べ、復旧時間の短縮が可能です。

遠隔軽故障復旧

故障時の運行データを自動的に収集・解析し、復旧可否を判定。部品の交換や調整を必要としない軽度の故障については、遠隔操作で仮復旧させます。

診断結果は、お客さまにわかりやすくご報告します。

自動診断運転の診断結果や、メンテナンスエンジニアによる点検の内容と結果は、メンテナンスレポートにてお客さまに毎回ご報告します。

BUILCARE

万が一の故障による閉じ込め事故にも、遠隔操作で迅速に救出、復旧します。

ヘリオスレスキュー

万が一、故障により利用者がエレベーター内に閉じ込められた場合、管制センターからエレベーターを遠隔操作し、迅速に救出します。同時にメンテナンスエンジニアが緊急出動して、故障の点検・復旧を行います。

●ヘリオスレスキューの流れ

閉じ込め事故発生 → 管制センターに自動通報 → 管制員がインターホンで応答 → 故障データを解析後、遠隔救出可否判定* → 乗客と会話しながらエレベーターを操作・救出 → メンテナンスエンジニアが故障復旧

最寄りのサービス拠点へメンテナンスエンジニア出動を指示

＊ エレベーターの状態により遠隔救出できない場合があります

保全体制を支える安心のバックアップ

24時間365日、お客さまのエレベーターを見守る

管制センター

エレベーターやエスカレーターはもちろん、さまざまなビル設備の機能を24時間365日体制で監視。大規模なコンピューターシステムと管制エンジニアを擁するマンパワーで、不測の事態にも迅速に対応します。

必要な部品をスピーディーに供給する

部品センター

予防保全をタイムリーに行えるよう、部品センターや各サービス拠点に数万点の部品をストックし、24時間体制で緊急時に備えています。

稼働データを蓄積し、最適な運用・管理に役立てる

データセンター

稼働データを一元管理し、ITを応用したシステムの頭脳として情報を提供しています。お客さまのエレベーターの稼働履歴、故障履歴などのデータがすべて集約されています。

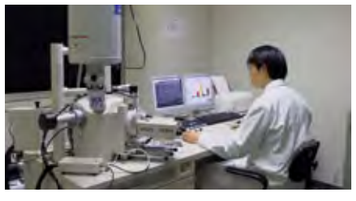
メンテナンスのプロを養成する

人材開発センター

昇降機やビル設備に関するさまざまな教育を実施して技術の向上をめざすとともに、自らの意思と責任で社会に貢献できる自律した人材の育成に努めています。

技術開発で保全精度を向上させる

保全技術開発



保全精度向上のために、日夜研究開発に取り組んでいます。最新技術を応用して開発された数多くの計測器や冶工具は、よりクオリティの高いメンテナンスの実現に貢献しています。

先進の技術やサービスを実体験できる

日立ビルソリューション-ラボ（東京・大阪）

お客さまの課題解決に役立つサービスを発見していただくとともに、お客さまから貴重なご意見を頂戴し、新たな製品づくりに役立てさせていただきます。

ビルケアねっとサービス

保全サービス機能

リモートメンテナンスシステムを利用したエレベーター制御・かご内情報表示の遠隔設定サービス。

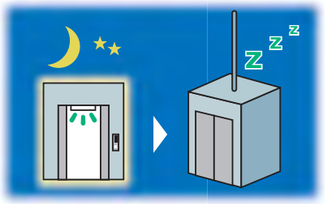
●ビルケアねっとサービスのシステム構成概要

※ 詳細なご利用方法につきましては、別カタログ「ビルケアねっとサービス 簡単マニュアル」をご参照ください。
*対象 OS : Microsoft Windows® XP SP2 以降、Windows Vista® または Windows®7
推奨ブラウザ : Microsoft® Internet Explorer®6.0 以上（Internet Explorer、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または、登録商標です）

エレベーター制御サービス

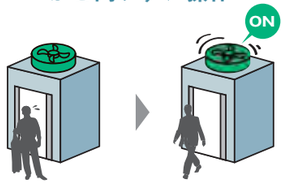
お客さまがエレベーターの利用状況に合わせ、エレベーターの機能や制御設定ができるほか、期間や曜日指定などのスケジュール設定が可能です。

運転休止



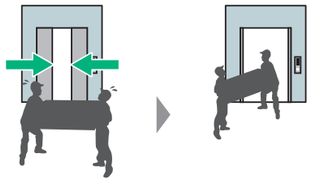
基準階（お客さま指定）に移動後、運転を休止します。

かご内ファン操作



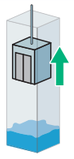
かご内ファンの運転･停止が設定可能です。

ドア開時間延長設定



ドアを開けたままにする時間の延長（3分間）設定が可能です。

冠水退避運転 NEW
（最上階を基準階に変更）

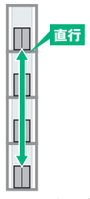


設定後は最上階を基準階に変更し、サービスを継続します。ピット冠水時は休止階に移動します。

冠水退避運転
（最上階で休止）

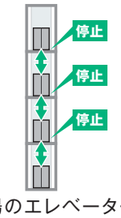
大雨などによる冠水に備え、退避階（最上階）に移動後、運転を休止します。

直行専用運転 NEW



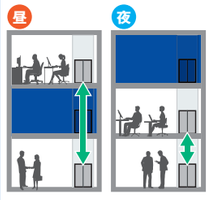
他の階でエレベーターの呼び登録があった場合でも、目的階まで直行運転します。

各階停止運転 NEW



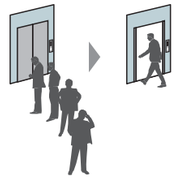
乗り場のエレベーター呼び登録がない場合でも、目的階まで各階停止します。

特定階サービス切り離し運転 NEW



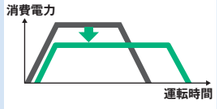
特定階の行先階ボタンを登録できないようにします。

待機階の変更



利用状況に合わせて待機階の変更が可能です。

電力ピーク時対応スマート運転



エレベーターの最高速度を定格速度から下げて運転します。

※ 詳細は11ページを参照ください。

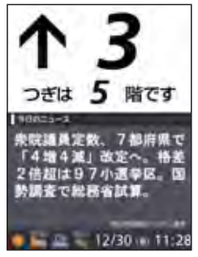
かご内情報表示サービス

お客さまが作成したメッセージや天気予報、ニュース情報などをかご内液晶インジケータに表示できます。
また、あらかじめ登録されている表示画面の選択や、表示スケジュール設定が可能です。

天気情報表示 NEW

建物所在地周辺の天気予報を表示します。
（情報提供元:日本気象株式会社）

ニュース表示 NEW

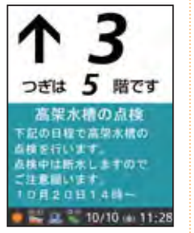


最新のニュースを表示します。
（情報提供元:株式会社共同通信社）

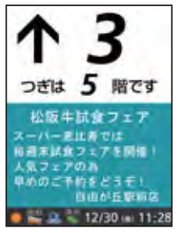
お客さま作成メッセージ

お客様が作成したオリジナルのメッセージを表示します。

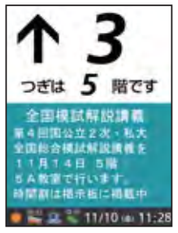
マンション



デパート



教育施設



今日は何の日

記念日や過去に起きた「今日」の出来事を表示します。

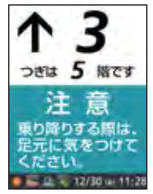
季節の風景

四季に応じた風景画を表示します。

防犯カメラ映像

エレベーター内に設置された防犯カメラ映像を表示します。

エレベーター利用上の注意



エレベーター利用に関する注意事項を表示します。

＊ 当社と保全契約が必要となります。

設置後20年を迎えるエレベーターをお持ちのお客さまへ。

リニューアル には、最新型のアーバンエースをお選びください

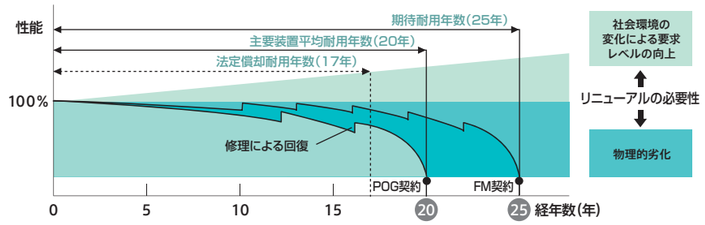
エレベーターを日々ご利用される中で起こる、意匠の老朽化や故障などを解決するのは、最新型アーバンエースです。

リニューアルの目安は20～25年

エレベーターは、長期間の使用によって経年劣化や性能低下が進行します。それにより、故障の増加や点検による停止の長期化、部品製造の中止に伴う問題などが発生します。利用者の安全と安心のために、適切な時期でのエレベーターリニューアルをおすすめします。

エレベーターにも寿命があります

●エレベーター耐用年数とリニューアルの必要性



●老朽化による問題点

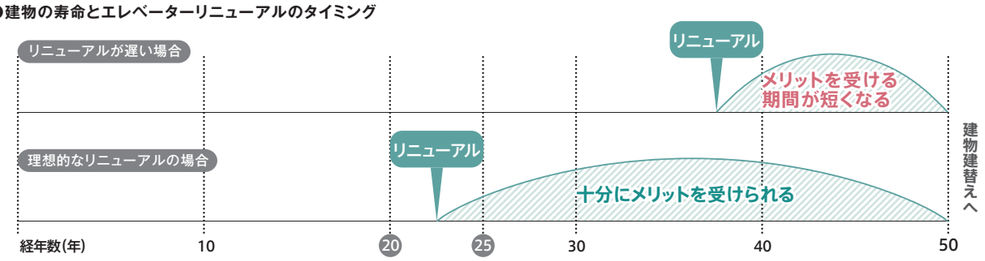
故障発生率	増加
点検による停止	増加
安全性・品質	低下
部品製造中止に伴う停止	増加
見た目・イメージ	悪化

他の建物設備と同様に、エレベーターにも寿命があります。エレベーターの場合、法定償却耐用年数が17年、性能低下に伴う安全性の低下や修繕費・運用費の増加等の問題を起こさずに、機能を発揮できると期待できる年数（期待耐用年数）を25年*と設定されています。

＊公益社団法人 ロングライフビル推進協会の LCC（ライフサイクルコスト）評価指針による

建物全体での経済効果を考えても20～25年が理想的です

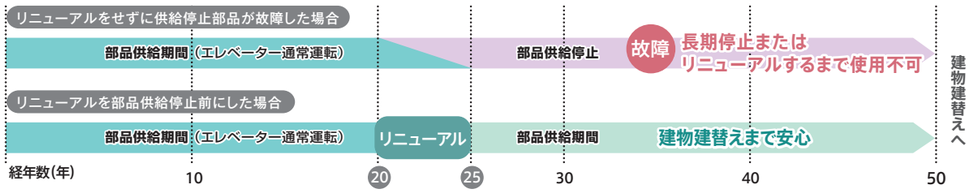
●建物の寿命とエレベーターリニューアルのタイミング



建物の寿命は50～60年と言われていますが、経済的観点から試算すると、その寿命はもっと早まり、鉄骨鉄筋コンクリート製の場合、経済的耐用年数は40～47年です。エレベーターリニューアルは、経済的耐用年数の半分に当たる20～25年に行うことで、リニューアル後のエレベーターも十分に機能させることができ、経済効果がよくなります。

20年を過ぎると故障によるリスクが高まります

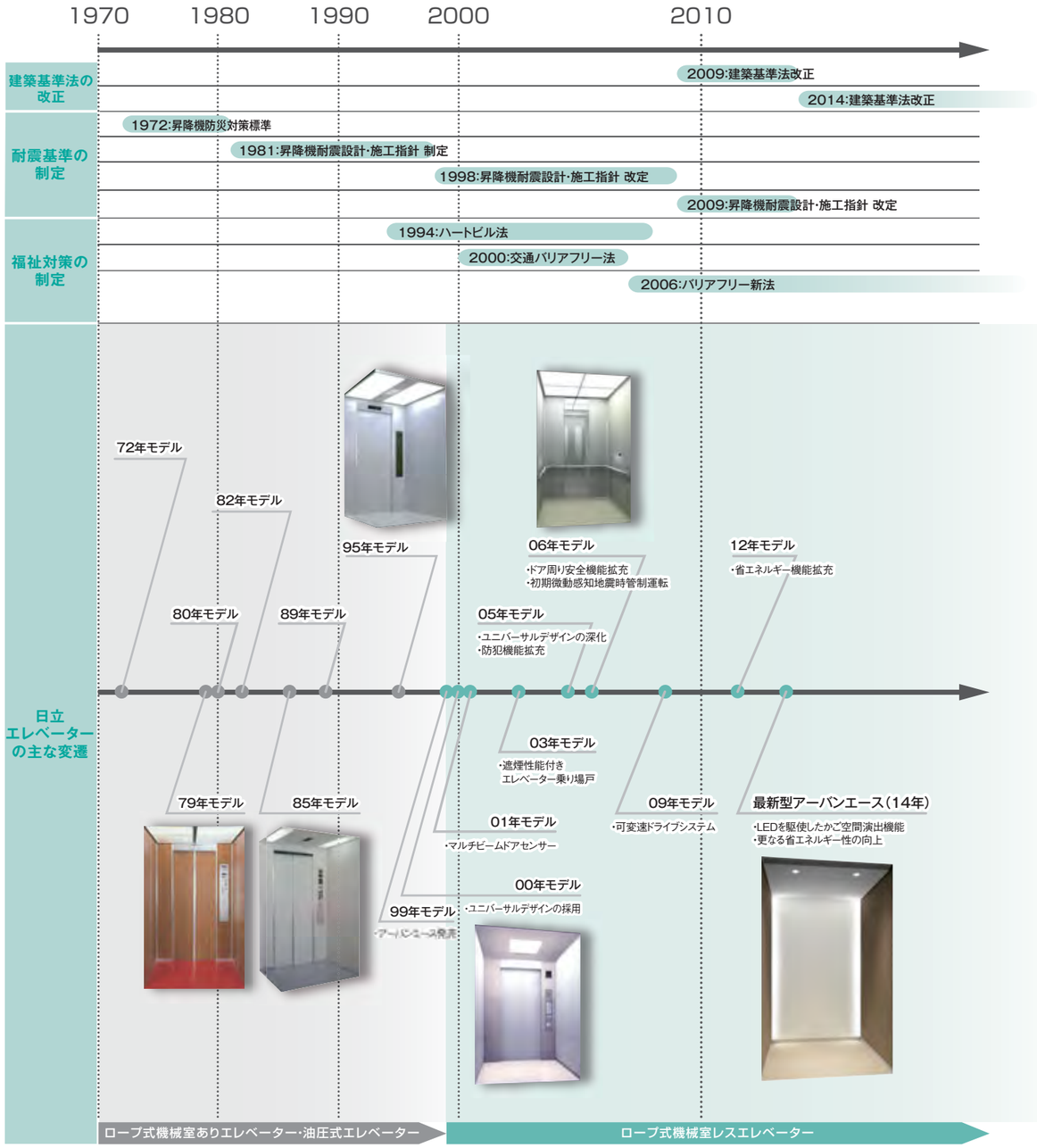
●部品の供給停止とリニューアルのタイミング



当社が今までに製造・納入したエレベーターのうち、すでに生産を中止している機種について、保守部品の標準供給期間を原則として生産中止後20年を目処としています。供給停止後に部品が故障した場合、当該部品の復旧ができず、エレベーターを使用できなくなることがあります。利便性を維持するためにも、早めのリニューアルが必要です。

今の社会ニーズにあったエレベーターへ

設置当時の状況と比べ、災害などの影響で建築基準法が何度も改正されたり、社会的な事件、事故から安全性の要求が高まったりと、エレベーターに関する社会ニーズが大きく変化しています。最新の機能を備えたアーバンエースにリニューアルすることで、このような社会の要請に応えることができます。



リニューアルでさまざまなメリットが生まれます

デザイン性の向上

利便性と快適性を追加した空間デザイン

詳しくは ▶ P.5-8

インジケータと操作盤の例

運行状況をリアルタイムに知らせる階床表示へ

85年モデル

表示灯で現在地を表示するアナログタイプ

95年モデル

方向と階床をデジタル表示へ

最新型アーバンエース

大型8.4インチで視認性に優れ、多くの情報提供を可能とした液晶表示へ

見やすく、触ってもわかりやすいボタンへ

85年モデル

表示灯のみ点灯

95年モデル

文字と枠点灯

最新型アーバンエース

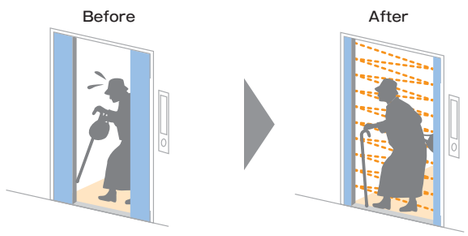
凸文字と全面点灯

安全性の向上

詳しくは ▶ P.15-16

乗り降り時に潜む危険に配慮した安心機能

従来は乗り降りしている最中にドアが閉まり始め、挟まれなどの原因となっていましたが、リニューアル後は乗り降りをセンサーで検知して、ドアへの挟まれを抑止します。



災害時における安全性の向上

詳しくは ▶ P.21-22

最新の地震対策を装備

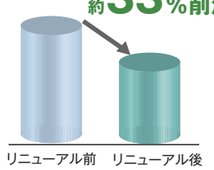
省エネルギー性の向上

インバーター化の他、付加機能によりさらに省エネルギーを実現。詳しくは ▶ P.9-12

インバーター制御化による省エネルギー化

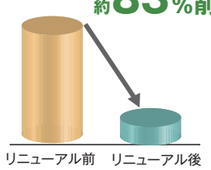
ロープ式機械室ありエレベーターから最新型アーバンエースへ*

運転時の消費電力量 約33%削減



油圧エレベーターから最新型アーバンエースへ*

運転時の消費電力量 約83%削減



＊P型-9人乗りの通常運転における効果（当社調べ）。
効果は使用状況により変動します。

メンテナンスの向上

詳しくは ▶ P.57-60

故障の兆候をみつけて対処する予防保全の精度向上

点検にかかる時間を大幅に短縮

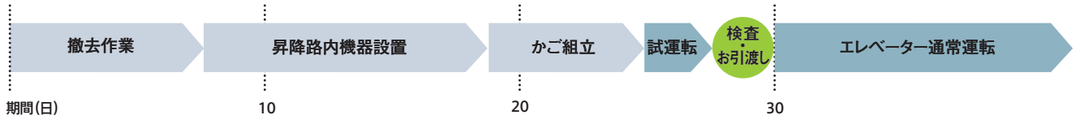
管理の効率化を支援する新保全サービスを利用可能

全ての機器を最新型に入れ替える「全撤去リニューアル」

全撤去リニューアル	
工事期間	30~40日*
概要	昇降機の構成部品を全て撤去し、最新型のエレベーターに更新することで、機能性・意匠性が向上します。

＊工期の比較は、7階床の場合（当社比）。エレベーターの機種、停止階床数、作業条件によって変わります。

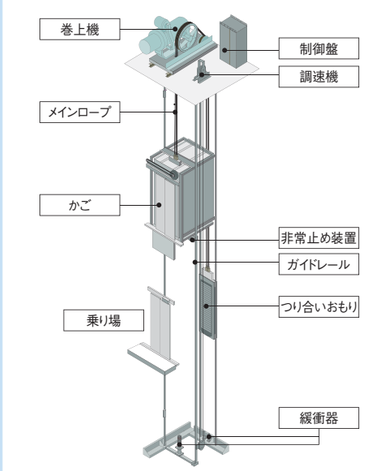
●リニューアル工事期間の目安（全撤去リニューアル）



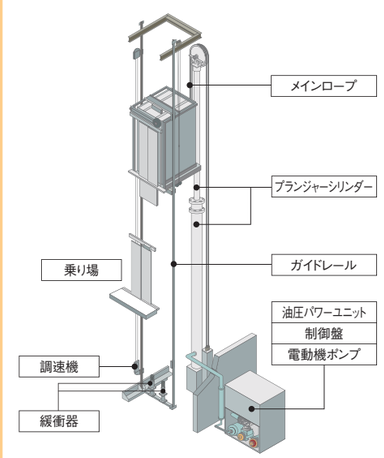
※工期間は目安です。エレベーターの機種、停止、階床数、作業条件によって変わります。

今お使いのエレベーター

ロープ式機械室ありエレベーター

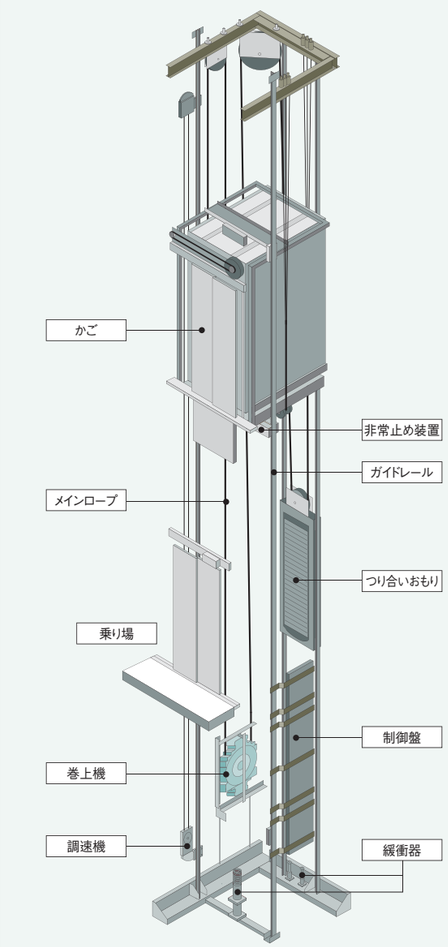


油圧式エレベーター



最新型アーバンエース

ロープ式機械室レスエレベーター



工事範囲

区分	No.	除外工事の内容
建築工事関係	1	各階出入口まわり壁の穴あけ工事およびその仕上げ工事（出入口、押しボタン、乗り場表示灯用） ・コンクリート誤差が30mmあるときは修正工事をお願いします。
	2	乗り場出入口の敷居取り付け用かき込みまたは敷居受け床持ち出し工事
	3	機器揚重用フックまたは吊りビーム用ファスナーの昇降路頂部への設置工事
	4	昇降路間仕切りまたは中間ビームの製作および取り付け工事（必要な場合）
	5	エレベーター据え付け後の出入口壁および床その他建築補修仕上げ工事（モルタル詰めほか）
	6	ピット内防水仕上げ工事（必要に応じて排水工事も含む）
	7	ピットが深い場合の埋め戻し工事
	8	通過階がある場合の昇降路救出口設置工事
	9	鉄骨構造の場合の三方枠、敷居、押しボタン、インジケータなどの固定用鋼材の設置工事
	10	鉄骨構造の場合のレール取り付け用ファスナー設置工事およびさび止め塗装工事
	11	鉄骨構造、PC構造の昇降路では、各階のレール支持用形鋼設置工事またはインサート埋め込み工事
	12	昇降路と居室が隣接する場合の防音工事
	13	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合のピット間仕切り工事
	14	鉄骨構造階の出入口機器と壁間の耐火処理工事
	15	鉄骨構造階における構造材の耐火処理工事
電気工事関係	16	昇降路最下階の制御盤までの動力電源（200～220V）、照明電源（100V）および接地線の引き込みならびに継ぎ込み工事（エレベーター工事の着工前まで本設配線で引き込み願います） ・制御盤の一次側ターミナルに接続ください。
	17	ピット点検用コンセントの設置
	18	昇降路から外部設置のインターホン・監視盤まで、ほかエレベーターに必要な配管配線工事
	19	昇降路上部の煙感知器の設置工事（自動火災報知設備を設ける建物の場合）
	20	リモートメンテナンス用として電話中継盤から昇降路内までの配管（最小直径25）配線工事
	21	火災時管制運転付きの場合の火災報知器接点の引き込み工事
その他確認事項	22	エレベーター部品搬入経路の確保（必要に応じてコンクリート穴あけおよび埋め戻し工事）
	23	エレベーター据え付け用および試運転調整用電力、工事用水、砂、セメントの供給
	24	据え付け工事員現場詰所および材料置場の確保
	25	エレベーターを工事用に使用する場合は別途ご用命ください。

注1）昇降路内温度は最低+5℃、最高40℃を維持し、湿度は月平均90%、日平均95%を超えないようにしてください。
注2）昇降路は有毒ガスや、はなはだしい塵埃などが入らないようにしてください。
注3）出入口が屋外に面する場合、出入口回りにひさし、水きりなどを設け、雨水が昇降路内に流れ込まないよう十分配慮願います。
注4）昇降路内壁や鉄骨部材に使用する塗料、接着剤、モルタルなどはホルムアルデヒドの発散が少ない材料を使用してください。

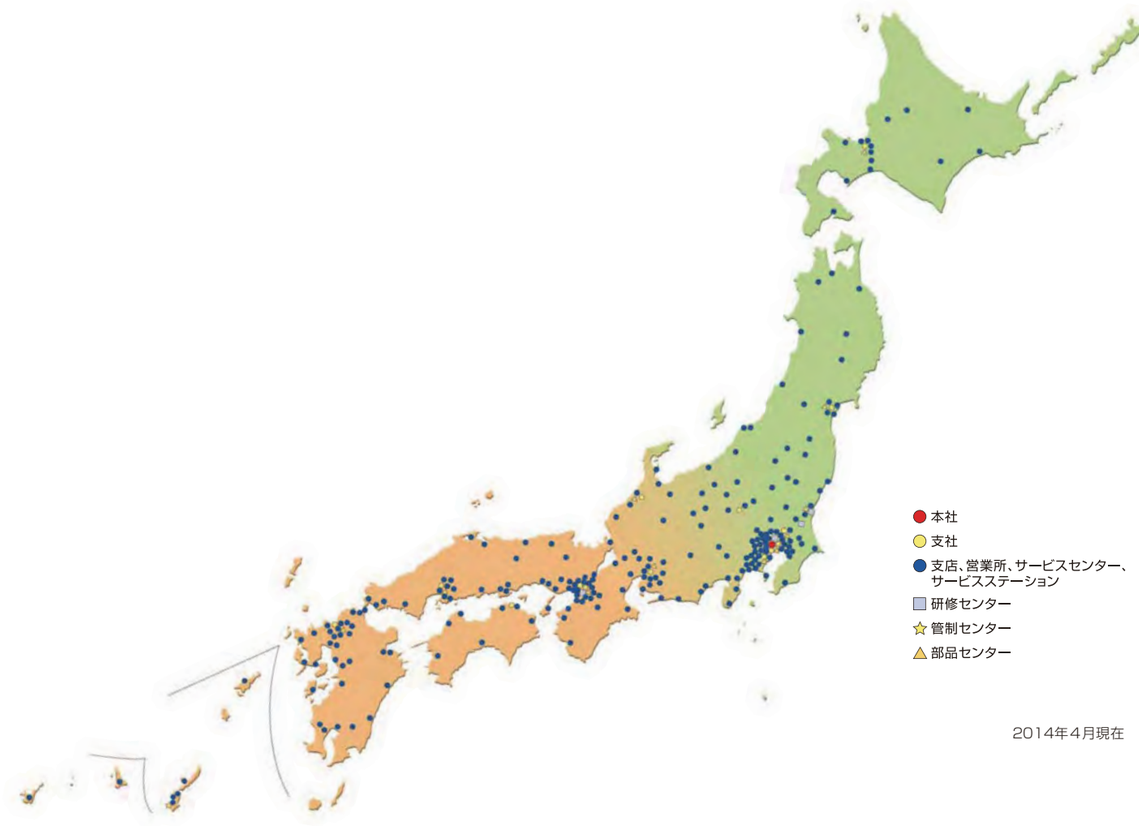
電源設備

	引き込み位置	昇降路最下階の制御盤まで引き込みをお願いします。[下記（1）～（3）]
内容	（1）動力電源	エレベーターの良好な性能を維持するため適正な電源設備を計画してください。
	（2）照明電源	かご室内照明、インジケータの点灯、かご上の保全作業に使用します。 他設備の停電に影響されないよう独立回路としてください。（AC100V 10A）
	（3）インターホン	かごと外部の緊急連絡用に必要な連絡設備です。電源と同じ位置まで配管配線の施工をお願いします。 配線本数φ0.9mm×7本です。
	（4）ピットコンセント	ピットで保全作業を行う際に必要となります。出入口側床下に設置してください。（AC100V 10A）

注）エレベーター制御盤受電端における電源電圧の変動は±10%以内、電圧不平衡率5%以内を保つよう電源設備を設置願います。

全国350か所のサービスネットワーク。株式会社日立ビルシステムがきめ細かなサービスをお届けします。

“いつもお客さまのおとなりに”をスローガンに全国を網羅する350か所のサービス拠点は、専用回線で結ばれ、部品情報、技術情報など常に相互共有。お客さまからのご要望にスピーディーに対応します。



2014年4月現在

(株)日立製作所 都市開発システム社 東京地区および水戸事業所、ならびに(株)日立ビルシステムは、環境マネジメントシステムISO14001の登録を受け、環境改善活動を推進しています。

登録No.EC97J1015 登録日 1997年4月22日

日立ビルソリューション・ラボのご案内　当社の先進の技術やサービスを体感してみませんか。

“見て！”“触れて！”“感じて！”“確かめる！”Solution LAB.（日立ビルソリューション・ラボ）

東日本地区　〒120-0002 東京都足立区中川四丁目16番29号

西日本地区　〒550-0004 大阪府大阪市西区靭本町一丁目4番12号

●来場の際は、担当営業へ事前予約のうえお越しくださるようお願い申し上げます。

心と技術で応える──ビルケア

BUILCARE

株式会社日立ビルシステム

本　社　〒101-8941 東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地（ワテラスタワー）
URL：http://www.hbs.co.jp
0120-7838-99（カスタマーサポートセンター）

— サービスネットワーク 全国350カ所 —

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

お問い合わせは…

RE-561　2014-0

VEGETABLE OIL INK　本カタログは環境に配慮し、植物油インキをしようしています。